

受講者の特性に対応した
教育訓練手法の構築・普及促進事業

WEB プログラミング従事者養成コース

団体名：ヒューマンアカデミー株式会社

提出日：令和7年3月31日

目次

第1章	背景と目的.....	2
1-1	課題など	2
1-2	既存の訓練との違い・新規性	4
第2章	取組内容と結果	5
2-1	募集	5
2-1-1	募集方法	5
2-1-2	募集結果	6
2-1-3	選考方法	7
2-1-4	選考結果	8
2-1-5	工夫点	9
2-2	訓練	9
2-2-1	訓練方法	9
2-2-2	訓練結果	13
2-2-3	工夫点	15
2-3	就職支援	16
2-3-1	支援方法	16
2-3-2	支援結果	17
2-3-3	工夫点	19
第3章	受講生の声	20
3-1	受講生へのアンケート	20
3-1-1	アンケートの目的	20
3-1-2	アンケートの方法・内容	20
3-1-3	アンケートの結果	20
3-1-4	結果に関する評価	22
3-2	受講生へのヒアリング	23
3-2-1	ヒアリングの目的	23
3-2-2	ヒアリングの方法・内容	23
3-2-3	ヒアリングの結果	23
3-2-4	結果に関する評価	23
第4章	訓練実施に係る費用	24
4-1	募集	24
4-2	訓練	24
4-3	就職支援	24
第5章	試行の総評	26
5-1	目標達成状況	26
5-2	試行結果から見る今後の課題と改善策	27
第6章	普及策の検討	29

第1章 背景と目的

1-2 課題など

就職氷河期世代については、これまでの職務経歴の不安定さ、スキルアップの機会が限られていたことによる、求められるスキルとの差によるスキル不足。企業側の採用基準による年齢制限の壁、安定した雇用機会の少なさ、長期間不安定な雇用であったことによる今後の就業への不安などが課題として挙げられます。

そのため、徹底的な専門分野における知識の習得と関連する業種への就職への準備、就職対策が重要であり、実施機関としても就職につなげるための受け皿（求人開拓など）が必要と考えます。

対象者	就職氷河期世代（現在求職中、非正規雇用者）
対象者の特性	経済状況の悪化により新卒での就職が困難な状況に直面した世代であり、現在も正規雇用ではなく非正規等の不安定雇用に留まっている方が多い状況となります。特に非正規の期間が長くなっている方においては、正規雇用による終身雇用や安定したキャリアパスを築くことが難しくなっています。 また新卒での就職が困難な状況だったため、本来の希望や能力に合わない仕事に就かざるを得ない事情から、自己の適性や能力に見合うキャリア形成が難しく、キャリアの停滞を経験してきている方も含まれています。
訓練パッケージ （訓練及び手法）	【WEB プログラミング従事者養成コース】 WEB の活用が主となり様々な業種がある中で、専門的知識を学ぶためには費用と時間が必要になります。 たとえ未経験であっても、前職での異業種における経験に加え、新たな WEB に関連する知識を身に着けることができれば、未経験であっても就職へとつながると考えます。 就職氷河期世代が WEB プログラミングの習得することで、需要の高い IT 業界への就職のチャンスが広がります。現在、多くの企業が IT 人材を求めており、スキルを活かして正社員としての採用も可能と考えます。

	そのため本訓練では、以下の内容の訓練を実施し正社員への就職を目指します。 WEBサイトを構築するプログラミング言語 (HTML/CSS/JavaScript) と関連する理論を学習し、WEBサイト制作を通してレスポンス対応サイトも制作することで、未経験からWEBデザイナー・コーダーへ就職が実現できるよう「実務を想定した内容」を実施。 手法：オンラインにて実施
仕上り像	企業が求めるスキルを習得後、即戦力となる人材を育成
訓練期間	3 か月
訓練時間	2 0 4 時間
対象者の目標	就職氷河期世代の方を対象とし、これまで不安定な就労や知識習得の機会も少なかった方を対象に、職業訓練を通じてこれまで経験のない、また今後さらに多くの需要が期待され、これまでの経験を活かすことで就職への幅が広がる、WEBプログラミングの基礎を習得します。 これにより、関連業種へ自信を持った就職を目標とし、実践的なスキルを身につけることで、競争の激しい就職市場での差別化を図り、安定した正社員を目指します。 また、継続的な学習意欲を持ち、新たなキャリアの構築に努めていただきます。 本コースでは、社会人経験は積んでいるものの企業側から着目されるスキルアップを目指し、今からでも正規雇用へ転換もしくは就職できることを目標とします。

普及・活用方策	不安定な就労を続けてきた氷河期世代の方々に対し、本パッケージにおけるカリキュラム内容、就職実績を就労支援機関を中心に公表し導入を促進する。また導入にあたり検討する機関への説明会を実施することで周知を図る。
---------	--

1-3 既存の訓練との違い・新規性

既存訓練では、通学式の1日6時間講義が標準であるため、居住地や生活環境から受講が難しい人が見受けられた。また、これまではアドビ社におけるデザインソフト（Illustrator や Photoshop など）の操作などを中心とした訓練を中心として実施してきた。しかし、ソフト導入にはある一定の費用もかかり、そのパソコンがなければ業務ができない状況であった。

そのため、専門ソフトに頼らずとも、パソコン1台あれば、WEB ページを制作でき、業務の環境に左右されずに業務を進めることができる、プログラミングに関連する知識を習得することで、IT 関連への就職の幅を広げることが可能な訓練設定とした。

既存訓練科目	新規訓練科目	導入理由
Illustrator Photoshop	Figma	Photoshop よりも動作が軽く、複数ページの制作にも対応できる。AI による UI の生成やプロトタイプ の作成が可能。
Dreamweaver	Visual Studio Code	無料のコードエディタ。任意の OS で実行される強力なコードエディタ。
JavaScript	JavaScript	WEB サイトの動きをつけるプログラミング言語のため必須スキルであり、既存訓練より時間数を多く実施。

第2章 取組内容と結果

2-1 募集

1-3-2 募集方法

① 募集手段

- ・5月10日事業用ホームページ開設。
- ・募集後半からInstagramにて周知を実施。
- ・募集チラシの作成（6,000枚）

首都圏は全ハローワークへ設置（東京、神奈川、千葉、埼玉）

首都圏以外は、県庁所在が属するハローワークへ設置。

② 募集期間

1次募集 5月20日～6月21日

2次募集 6月22日～7月1日

③ 訴求内容

- ・全国のハローワークへチラシを配布したが募集が弱く、1次募集後半よりInstagramでの周知を実施したところ、開始直後は1日10件前後の募集が入るようになった。
- ・SNS広告を首都圏、札幌、東海、近畿、福岡と地域を絞った。（本コースに関連する求人が大都市に集中しているため）
- ・オンラインにて説明会を2日間実施。（33名参加）後日、録画した説明会の内容を事業用HP内で公開。

事業用ホームページのトップ画面



募集用チラシデザイン



WEB 厚生労働省 委託事業

プログラミング

従事者養成コース

パソコン・テキスト
受講料 無料
無償貸与

自宅で受講できるから安心!

募集期間 令和6年 5月20日(月) ▶ 6月21日(金) 17時まで

コース説明会 6月10日(月)・17日(月)

※いずれも11:00からオンライン(Zoom)にて開催します。予約不要。
※詳細はホームページをご確認ください。 <https://job-learning.net/>

応募人数 30名(面接選考にて決定)

対象 就職氷河期世代で現在求職中・非正規雇用の方
※昭和43年4月2日から昭和63年4月1日生まれの方。
要件はホームページをご確認ください。

必要なスキル Windows 操作(ファイルの管理・保存)、文字入力(英単語)、
Google のメール・ドライブ操作ができる方。
訓練終了後に就職を目指す方。

訓練期間 約3ヶ月/204時間

訓練時間 平日のみ1日4時間(9時30分～13時30分)+(30分の質疑応答)

訓練実施方法 オンライン形式

選考

選考日 令和6年6月27日(木)・28日(金)

選考結果 令和6年7月5日(金)以降メールにて通知致します。

訓練期間 令和6年7月22日(月)～10月29日(火)/204時間

就職支援期間 令和6年10月30日(水)～令和7年1月29日(水)の3か月間

1-3-3 募集結果

①応募者数

1次募集 30名・2次募集 80名 合計 110名

年代	人数	割合
20代	1	0.9%
30代	21	19.1%
40代	53	48.2%
50代	34	30.9%
60代	1	0.9%
合計	110	

申し込み媒体

申し込み媒体	人数
チラシ	27
SNS	72

広告	4
その他(職安、市役所など)	7
合計	110

申し込み時点での雇用形態

雇用形態	人数
正規雇用	4
非正規雇用	32
求職中	63
その他（学生、内職、自営、休職中）	11
合計	110

②実施コースが WEB プログラミングのため、日頃より Instagram 等の SNS を利用している方が多く、SNS から事業専用の HP への誘導に繋がり 110 名の応募となった。また、HP・チラシ・Instagram のデザインを統一することで訴求力が上がったと考えられる。

本項目では、応募者数、募集手段別応募者数及び募集結果に対する貴団体としての評価について記載すること。適宜表や図を用いる等して、わかりやすく記載すること。

1-3-4 選考方法

以下の選考基準において全応募者の選考を実施（オンライン面接）

①選考評価表をもとに実施

- ・面接官 2 名（質問、記録）
- ・面接官 2 名の合計点にて合否を決定。30 点中 15 点以上を合格ライン

②選考時のポイント

- ・就職を目標としているか
- ・訓練の趣旨を理解しているか
- ・これまで類似の訓練受講はないか
- ・訓練継続と知識習得のために、どのような取り組みや努力をするのか

③面接記録簿

【厚労省】WEBプログラミング従事者養成コース	面接日時		受験者氏名				
	7月4日(木)						
評価項目と質問例(下段口は評価の視点)	評価(点) 高←低(下段はコメント記入欄)						
	非常に 優れている	優れている	普通	劣っている	非常に 劣っている		
訓練に対する意欲・必要性	10	9	8	7	6	5	4
(1) この訓練科を希望した理由を聞かせて下さい。							
(2) どのようなスキルや知識を身に付けたいですか。							
☐ 訓練への意欲・意思を持っているか。							
☐ 訓練内容・カリキュラムを把握しているか。							
☐ 訓練の必要性が充分であるか。							
就職への考え方	5	4	3	2	1		
(1) 最近行った就職活動について教えてください。							
(2) どのような職種(就職先)を希望していますか。							
(3) 就職の時期はいつ頃を考えていますか。 (訓練終了後3ヶ月以内の就職は可能か?)							
☐ 具体的な就職時期が定まっているか。							
☐ 就職への目標・意欲が感じられるか。							
パソコンスキル・受講環境	5	4	3	2	1		
(1) 文字入力やファイル管理はできますか。							
(2) 受講ができる環境は整っていますか。							
☐ パソコンスキルではないため一定のスキルはあるか。							
☐ 自宅等で受講ができる環境か。(カフェ等は不可)							
訓練の継続性	5	4	3	2	1		
(1) 訓練期間中、訓練継続と知識習得のため、 どのような取り組みや努力をしますか?							
☐ 訓練の継続ができる。積極性がある。							
面接態度・協調性	5	4	3	2	1		
☐ 質問の意図、内容をとらえる理解力、自分の伝えたいことをわかりやすく言う表現力は充分か。 ☐ 面接態度は良好か。(☐ 言葉遣い ☐ 雰囲気) ☐ 立場の違う人と協力できるか。自分勝手な行動はないか。 他人の話を最後まで聞くことができるか。							
パソコン・インターネットの有無について パソコン(貸出し必要 ・ 不要) インターネット(Wi-Fi必要 ・ 不要)			合計点数				
			総合計点数(×2)		/60		
			総合順位				

1-3-5 選考結果

①選考面接の実施

- ・一次募集における選考 6月27、28日 28名選考(2名面接前辞退)
- ・二次募集における選考 7月4日、5日 72名選考(8名面接前辞退)

②合否結果通知

- ・7月5日応募者全員に合否結果送信(PC・テキストは7月12日発送)
- ・合格者30名(内、繰上合格4名) 平均年齢44歳
- ・不合格者45名(補欠合格6名含む)
- ・辞退者35名

(年齢対象外5名、自己都合10名、就職決定4名、就職活動優先2名、入室せず13名、合格したが雇用保険延長できず就職優先1名)

1 - 3 - 6 工夫点

募集期間を1か月間設け、2次募集も設定できるよう訓練実施まで余裕を持たせた。試行訓練時も開講前の辞退が発生しており、フルパッケージでは補欠合格を10名に設定した。合否通知後に4名の辞退が発生し開講前までに補欠から4名を繰り上げ合格とすることができた。

本項目では、第1回試行等での反省を踏まえてフルパッケージの試行で改善した部分や、その他特筆すべき工夫等について記載すること。

1 - 4 訓練

1 - 4 - 1 訓練方法

①訓練カリキュラムと実施内容

科目	時間	科目の内容
HTML・CSS	80	■HTMLの基本 マークアップの重要性、情報の整理、コードの書き方、Webサイトの構成パーツ、 文書構造を表すHTMLタグ、アウトラインとセクション、新しいHTMLタグ、HTMLの構造、 ページ内リンク、マークアップ ■CSSの基本 デベロッパーツールの使い方、CSSファイルとHTMファイル、デフォルトCSSのリセット、 ボックスモデルの理解、フレックスボックスレイアウト、ページ全体とヘッダー、 メインエリアとサイドバー、記事エリアとフッター、Webフォント、レイアウト、 msgセクション、dateセクション、formセクション、footerとパララックス効果、 CSSアニメーションの基礎 ■コーディング基礎 Webサイト制作の流れ、Webデザイン概要、Webデザインの基本、 複数ページ作成時のポイント、TOPページのコーディング、CONCEPTページのコーディング、 MENUページのコーディング、INFOページのコーディング ■VSコード基本構造 エディタとは、VSコードのダウンロードおよびインストール、 言語パックのインストール、ソフトウェアライセンス条項 ■マルチデバイス対応基礎 レスポンシブウェブデザインとは、マルチデバイスの対応方法 ビューポートの指定、ビューポートとは、ブレイクポイントの決め方、メディアクエリ、 デバイス対応の流れ、カラム数の調整、固定幅を可変幅に変更、パーツの表示調整、 ヘッダー表示の調整、viewportを基準とする単位 (vh) (vw)、msgセクション表示の調整、 高解像度ディスプレイとは、画像を高解像度ディスプレイに対応させる方法
Figma	24	■Figma基本操作 Figmaの概要、Figmaの特徴と他のツールとの違い、プランの種類と選び方、 アカウント作成とログイン、アプリのダウンロード、表示言語の設定、 ■Figma基本操作 データ構造、ファイル管理、編集画面、基本操作、便利な機能、 ■Figmaでの共同作業 ファイル共有、便利な機能、チームライブラリ、 ■Figmaで使えるリソース プラグインの検索と利用方法、ファイルとウィジェットの利用方法、 デザインにおける生成AIの活用、 ■Instagram広告の作成 ワイヤーフレームの作成、バナーデザイン、デザインの確認、 ■YouTubeのサムネイルの作成 ロゴ、レイアウトの作成、テキスト要素の作成、フレーム枠の作成、サムネイルデザイン ■プレゼン資料の作成 スタイルガイドの作成、レイアウトグリッドの設定、スライドデザインの作成、 テンプレートを活用した資料作成、PDF変換、 ■Webサイトのデザイン作成 Webサイト制作の流れ、ワイヤーフレームの作成、スタイルガイドの作成、 サイトデザインの作成、デザインデータの共同、

JavaScript	20	■JavaScriptでできること 基本文法の理解、html内に書く、外部ファイル化する、alert、よくあるエラーの見つけ方 基本ルール、オンラインツール、エディター、コンソールの見方。 定数、関数、無名関数、引数、複数の引数、CSSを変更する、条件分岐・if文# f f fまで 条件分岐・if文# f f fから、if else、DOMの操作であるあるメソッドと定数の練習 loading画面を作る、素材のCSS・HTML・画像のチェック const、条件分岐、イベントとは？、loading画面の制作、クラス名の追加（classList.add） jQueryの導入、ready関数、jQuery応用編（アコーディオンメニュー）の制作
コンセプトメイキング	8	Web制作の流れ①情報の整理、②企画・サイトコンセプト、③スケジューリング、 ④サイトマップ、⑤ワイヤーフレーム <SEO対策>SEO、SEM、Googleに対するSEO、制作者が意識するSEO ヒアリングシート、コンセプトシート、チェックシート 必要な項目、掲載内容、制作のポイント、参考サイト
WEBサイト制作	36	HTML・CSS、Figama、JavaScriptを使用したポートフォリオ制作、WEBサイト制作 就職活動用に複数作品を制作（ポートフォリオそのものがスキルを証明してくれる） ●必須事項 最初に、ワイヤーフレームとフォルダ構成を考える PC サイトを作る（レスポンシブ化も想定しても良い） ●制作のポイント とにかく「わかりやすく」する ソースコードは美しく 何かしらの動き（アニメーション） SEO 対策 ターゲットを考える
プレゼンテーション	8	制作作品のプレゼンテーション 講師からのフィードバック 再プレゼンテーション
ネットワーク概論	4	三色配色PCCS、色相暗記のコツ、トーンの暗記、トーン概念図、
色彩学	8	トーンの並べ替えワーク、トーンの解説、宿題1の色相環を完成させる、色相環の解説 PCCS、色相暗記のコツ、トーンの暗記、トーン概念図、トーンの並べ替えワーク 色彩心理、視認性、ユニバーサルデザイン、色弱・色盲の方に分かり易い配色とは 色の心理効果、ターゲット層と配色、色のイメージを上げる配色
就職支援	12	就職活動の流れ、自己理解、キャリアについての考え方、ジョブカードとは 職務経歴シート、職業能力証明シート、キャリアプラン作成補助シート、 キャリアコンサルティングとは、DXとIT人材、現在の労働市場、DXについて、社会情勢と働き方 履歴書と職務経歴書の書き方、面接の準備と注意点 面接練習（ブレイクアウトルーム活用）
オリエンテーション	4	入校・修了オリエンテーション
合計	204	

7月	9:30~13:30	8月	9:30~13:30	9月	9:30~13:30	10月	9:30~13:30
7月1日	月	8月1日	木	9月1日	日	10月1日	火
7月2日	火	8月2日	金	9月2日	月	10月2日	水
7月3日	水	8月3日	土	9月3日	火	10月3日	木
7月4日	木	8月4日	日	9月4日	水	10月4日	金
7月5日	金	8月5日	月	9月5日	木	10月5日	土
7月6日	土	8月6日	火	9月6日	金	10月6日	日
7月7日	日	8月7日	水	9月7日	土	10月7日	月
7月8日	月	8月8日	木	9月8日	日	10月8日	火
7月9日	火	8月9日	金	9月9日	月	10月9日	水
7月10日	水	8月10日	土	9月10日	火	10月10日	木
7月11日	木	8月11日	日	9月11日	水	10月11日	金
7月12日	金	8月12日	月	9月12日	木	10月12日	土
7月13日	土	8月13日	火	9月13日	金	10月13日	日
7月14日	日	8月14日	水	9月14日	土	10月14日	月
7月15日	月	8月15日	木	9月15日	日	10月15日	火
7月16日	火	8月16日	金	9月16日	月	10月16日	水
7月17日	水	8月17日	土	9月17日	火	10月17日	木
7月18日	木	8月18日	日	9月18日	水	10月18日	金
7月19日	金	8月19日	月	9月19日	木	10月19日	土
7月20日	土	8月20日	火	9月20日	金	10月20日	日
7月21日	日	8月21日	水	9月21日	土	10月21日	月
7月22日	月	8月22日	木	9月22日	日	10月22日	火
7月23日	火	8月23日	金	9月23日	月	10月23日	水
7月24日	水	8月24日	土	9月24日	火	10月24日	木
7月25日	木	8月25日	日	9月25日	水	10月25日	金
7月26日	金	8月26日	月	9月26日	木	10月26日	土
7月27日	土	8月27日	火	9月27日	金	10月27日	日
7月28日	日	8月28日	水	9月28日	土	10月28日	月
7月29日	月	8月29日	木	9月29日	日	10月29日	火
7月30日	火	8月30日	金	9月30日	月	10月30日	水
7月31日	水	8月31日	土			10月31日	木

②訓練概要

- ・WEB 関連の知識習得を中心に就職支援・キャリアカウンセリングも並行して実施することで、本コースで習得した内容を活かして就職に繋げる。IT 業界に関わらず、HTML・CSS、JavaScript の知識は再就職する上でもプラスの知識となるため、就職を意識した講義を実施。
- ・講義 9 時 30 分～13 時 30 分（質疑応答時間 13 時 30 分～14 時）

③実施体制

- ・カリキュラム添付の通り、オンラインのためサブ講師は不要であるが、サブ 講師を 2 名～3 名体制にすることで、質問チャットや講義中に遅れが出ている方のフォローを実施した。
- ・当日の講義や過去の講義内容について、疑問点は各自質問フォームに入力いただき講師より回答集へ。全受講生がいつでも閲覧することができ、試行訓練と比べ同じような質問を繰り返す方が減った。
- ・講義実施日は毎日、質疑応答時間（13 時 30 分～14 時）を設け、質問フォームにあった内容や簡単に回答できる個別質問を受付ける時間とした。
- ・質問への回答も緊急度を付けて対応した。
- ・受講フォローとして、様々な方法を設けフォロー体制を構築した。

・質問回答集（一部抜粋）

緊急度	質問内容	返答
☆☆☆☆ 急いではない	質問1 cssで設定したdisplay: noneをjavascriptで有効にしたり無効にするとき、アニメーションの設定（durationとか）を同時に設定したい場合は、どうしたらよいのでしょうか。 質問2 htmlでdivにstyle="opacity: 0, overflow: hidden"という設定をして、javascriptでこれをstyle="opacity: 1, overflow: visible"にした場合はどうすればよいのでしょうか。	displayで表示された状態にtransitionで設定しておけば良いのかとっ！ 質問2は「クラス名」を付ける外です切り替えれば良いかとっ！ 10/16授業にて解説済み（古見先生）
☆☆☆☆ 急いではない	お世話になっております。 【ファイルは提出用フォルダーに添付いたします】 【質問1】添付した画像（2か所とも）が表示されません（オルト属性に入力したテキストのみ表示される） 【質問2】VSコードでヘッダー内のurlは四か所（about works skill contactの4つ）マークしてありますが、index.htmlを表示させると4か所+もうひとつ（aboutがcontactの下にひとつ）表示されます。なぜでしょうか？ https://hajime-te.org/css-hover-image-change	【質問1】images ⇒ images 【質問2】最後のaboutは2の見出しに設定してあるものです。 ⇒講義内で解説します。（古見） 10/16解説済み
☆☆☆☆ 急いではない	portfolio課題について 自身portfolioのskillエリアのアイコンを2列で並べたいのですがうまくいきません。添田提出フォルダへデータをいれました。ご確認お願い致します。	10/16質問タイムと10/17授業中に解説
☆☆☆☆ なるべくはや	Slickを設定しPC上では動作を確認できたのですが、サーバーにアップロードすると設定がはずれてしまっています。どこに原因があるのでしょうか。ご教授ください。よろしくお願いたします。	10/17授業中に解説（古見先生）
☆☆☆☆ 近日中に	先日質問したslickのサーバー上での機能しない件については解決いたしました フォルダ名が「js」になっていませんでした。初歩的ミスで失礼いたしました。ありがとうございました。	
☆☆☆☆ 急いではない	提出用フォルダに入れている質問のファイルの以下の件について教えてください。 ①スライダーについて 45行 <!-- sliderArea02 --> ・スライダーの写真のまわりに余白を入れたいときは、どこに対して指定したらいいですか？ <section class="section sliderArea02" id="multiltems"> <div class="slid02"> クラスとID両方についている場合はどちらで指定したらいいですか？ ②ゆらずアニメーション 68行 <!-- アニメーション質問 --> images/maru.png をゆらしたいのですがどうしたらいいですか？	

④受講環境

- ・受講生全員に PC を貸与。PC を貸与することにより全員が同じ環境で受講できたことで、個々の都合におけるマシントラブルで講義が中断することがなく、スムーズな講義を実施することができた。
- ・個人で所有している PC はオンラインに接続用としていただき、可能な方は2画面方式で実施いただいた。

⑤ 使用テキスト（無償支給）

テキスト名	出版社	定価	科目
これだけで基本がしっかり身につくHTML/CSS&Webデザイン1冊目の本	翔泳社	2,420	HTML・CSS WEBサイト制作
1冊ですべて身につくJavaScript入門講座	SBクリエイティブ	2,794	JavaScript WEBサイト制作
はじめてでも迷わないFigmaのきほん	インプレス	2,750	Figma WEBサイト制作
色彩検定3級公式テキスト	色彩検定協会	2,420	色彩学
新配色カード 199A	日本色研事業株式会社	1,375	色彩学
就職支援レジュメ	講師オリジナル	0	就職支援
合計		11,759	

1-4-2 訓練結果

①修了人数 25 名

- ・途中退校 4 名
(就職決定 2 名、体調不良 1 名、就職活動優先 1 名)
- ・未修了 1 名 (欠席超過)

②在籍者受講状況

- ・出席率 94.2% (欠席率 5.8%)

④ 確認テスト結果

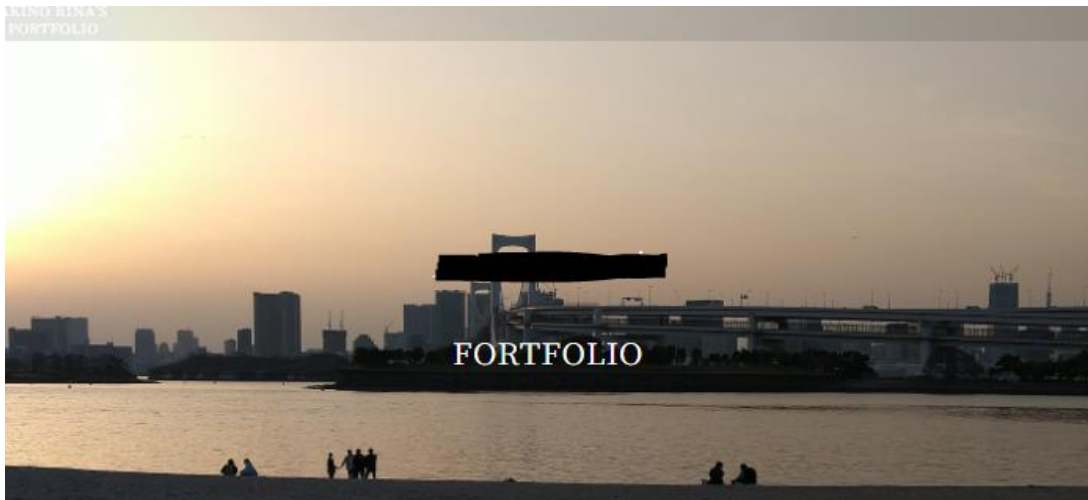
実施日	HTML・CSS (実施日：08/08)	figma (実施日：08/27)	色彩学 (実施日：09/04)	HTML・CSS (実施日：10/07)	Javascript (実施日：10/01)	ポートフォリオ制作 (実施日：09/12)
判定内容	<判定内容> HTML/CSSの基礎 A.80~100点 B.70点 C.60点以下	<判定内容> バナー広告の作成 A.複数提出 B.1点提出 C.未提出	<判定内容> 記述式テストの実施 A.80~100点 B.60点~79点 C.59点以下	<判定内容> cafeサイト制作 A.意欲的なサイト B.提出 C.未提出	<判定内容> JavaScriptの基礎 A.80~100点 B.70点 C.60点以下	<判定内容> FTPアップロード A.提出・カスタマイズ B.提出 C.未提出
A評価	29	29	28	27	25	25
B評価	0	0	1	0	2	0
C評価	0	0	0	0	0	0

④評価

- ・試行に比べ時間が増えたことにより、各科目の内容に時間をかけることができた。
- ・当初募集において定員には達していたものの、辞退や選考による不合格選定などにより、受講者数 30 名 (定員) の確保が厳しいと判断し、追加募集を実施。その際に Instagram への周知にも力を入れた結果、当初募集と合計し 110 名の申し込みにつながった。(プラス 80 名、当初募集対比：2.6 ポイント増)
- ・募集専用ホームページにおいて、説明会動画を配信したことで、より本訓練の理解につなげることができた。
- ・募集人数が多かったため合格基準通りの選考ができ、受講生のレベルが比較的高く授業がスムーズに進行した。予定以上の知識や技術、最新情報を十分に伝えることができた。
- ・成果物として多くの作品を完成させることができた。

- ・レスポンスサイト（スマホ版）を制作できるようになり、作品のクオリティも非常に高いものができた。（検討委員の方からも好評でした）

⑤受講生作品



- ①試行訓練では質疑応答時間に講義内容の殆どを質問してくる方がいたため、質問受付フォームへの対応に切り替えた。
- ②質問したい内容を考えながら言語化することで、講義内容の復習を兼ねることができ、テキストやメモを読み返す習慣が身についた。
- ③試行訓練からカリキュラム内容を一部見直し Figma を取り入れた。Figma を取り入れたことで、ポートフォリオの視覚的なビジュアルスキルを高めることができた。また、フルパッケージでは時間が増えたこともあるが、各プログラミングやアプリケーションの後に課題制作を実施する時間を設けた。
- ④試行訓練から、JavaScript を強化し「WEB 制作にどう活かすか」に集中させたことにより、JavaScript を効果的に活用する方法を教えることができた。これにより受講生には文法理解が深まり、自作の制作に応用できるようになった。
- ⑤サブ講師を2名~3名体制にしたため講義のフォロー、講義中の受講生からの質問チャット対応などスムーズに実施できた。
- ⑥質問フォームの活用、13時30分~14時までの質疑応答時間の設定、直接質問ができる機会は確保したためフォロー体制について満足が高い結果となった。
- ⑦本コースではオンラインにて実施したため、これまで受講環境で妨げになっていた方々が受講できたと言える。
- ⑧週4日間、講義時間を9時30分から13時30分にすることで、アルバイトや子育て、介護などに時間を確保することで、家庭との両立を図ることができたと考えられる。
- ⑨コース内容から就職につなげるための制作物が非常に多くあったが、午後の時間を復習や制作に充てることができ、通学式訓練と同等以上のクオリティの高い作品が仕上がった。

パソコン操作が不慣れな方については、予期せぬトラブルや操作に戸惑うなども見受けられた。またオンライン講義では、講師は画面を見ながら講義を行うため、受講者の様子を常に確認できる状況は難しく、管理する者を設置する必要があった。

そのため、フォローを行う必要も生じたため、全行程訓練では講師、アシスタントが役割分担を行い、今まで以上に連携したことで効率的に実施することができた。

それに対し、受講者も自宅を中心に受講しやすい環境であった半面、自己都合で画面をオフにするなど、集中的に行う部分としてはオンライン形式で課題もあったと考える。

1 - 5 就職支援

1 - 5 - 1 支援方法

①就職支援講義と実施内容

基本的な転職者として必要な就職活動における知識やジョブカードの活用方法と作成支援、これまでの自分を知り、今後どのような活動が必要なのか、自分自身をより理解するための講義、これまであまり経験の少ないオンライン面接対策、自分の思い通りにいかなかった際のモチベーションのコントロールの仕方（アンガーマネジメント）などの内容で実施した。

1回目（8月29日）

- ・就職活動の流れ：自分を知る、相手を知る、キャリアについての考え方、ジョブカードとは
- ・ジョブカード作成演習：職務経歴シート、職業能力証明シート、キャリアプラン作成補助シート
- ・ジョブカード作成演習：キャリアプラン補助シート（こだわり、価値観、強みと弱み）
- ・ジョブカード作成演習（価値観診断について、キャリアプランシート）：キャリアコンサルティングとは、DXとIT人材

2回目（9月17日）

- ・前回の復習：自分を知る、相手を知る、応募書類の書き方（履歴書、職務経歴書）
- ・応募書類の書き方：添え状、送付について 面接への準備、面接での注意
- ・面接対策：オンライン面接について 現在の労働市場、DXについて、社会情勢と働き方
- ・業界理解：デジタル化、IT化、DX化（グループセッション）身の回りのIT化と未来、IT化に伴う働き方

3回目（10月10日）

- ・ウォーミングアップ：最近イラついたこと（グループワーク）怒りと解決（アンガーマネジメント）
- ・応募書類の作成：履歴書・職務経歴書・添え状・企業を調べる（グループワーク）
- ・面接対策 面接ロープレ（ブレイクアウト）面接官、応募者、オブザーバー各自感想、フィードバック
- ・IT業界の特徴：現状のIT業界理解、IT分野の業種、職種、エンジニアとプログラマー、IT業界のキャリアパス
- ・プログラム言語の現状、仕事の効率化：ちょっと便利なPC操作（ショートカットキー）
- ・面接ロープレの振り返り（ブレイクアウト）就職活動へのまとめ

②キャリアカウンセリング

- ・実施回数 1 名につき 3 回

1 回目：8 月 19 日～9 月 10 日

2 回目：9 月 17 日～10 月 10 日

3 回目：10 月 15 日～10 月 31 日

- ・支援内容

受講の動機と就職意欲について、明確な就職時期、訓練の進捗確認

具体的な職種と雇用形態の確認、企業研究、応募したい求人票の確認

応募書類の添削、面接対策、他相談など

- ・支援スタッフ（3 名とも国家資格キャリアコンサルタント保有）

メイン 1 名（職業訓練他、IT 関連のキャリアサポートをメインに実施、氷河期世代向けのプログラムも多数実施）

サブ 2 名（職業訓練や就労支援のキャリアカウンセリングを実施）

1-5-2 支援結果

・契約社員・派遣社員として就業された方の中にも将来的な正社員採用を見据えている方もいた。企業側の募集状況として未経験で正社員の採用は少ない。実際に就職活動を行い、苦戦しつつも職種や雇用形態を広げながら、就職につなげることができた。

・Web 業界では未経験者の正規雇用求人が少なく、非正規雇用で実務経験を積むキャリア形成が一般的。非正規が増えたのは、しっかりとスキルを学び希望の職種に就職ができたことの証明と考える。

- ・就職実績 74%（就職数 20 名（中途就職 2 名含む）／27 名）

修了者＋就職中退	20 名
正社員	2 名
契約社員	4 名
派遣	6 名
パート・アルバイト	5 名
自営・フリーランス	3 名

	年齢	性別	問1 受講開始時の就業形態について1つを選択してください。	問2 受講修了3か月後の就業形態について1つを選択してください。	備考 (関連就職)
1	49	女	離職中	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	
2	37	男	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	関連
3	49	女	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	離職中	
4	47	女	離職中	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	関連
5	38	女	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	関連
6	43	女	離職中	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	関連
7	50	女	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	
8	39	女	その他の就業（自営業等）	正社員	
9	42	女	離職中	離職中	
10	47	女	その他の就業（自営業等）	その他の就業（自営業等）	
11	40	女	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む） ※出産前の職場に復帰	関連
12	48	女	離職中	正社員	
13	37	男	離職中	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	
14	52	女	離職中	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	
15	47	女	その他の就業（自営業等）	離職中 （家庭の事情により5月に就職）	
16	47	女	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	離職中	
17	41	男	離職中	その他の就業（自営業等）、非正社員・派遣社員 （アルバイト・パート含む）	
18	45	女	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	
19	37	男	離職中	離職中	
20	53	女	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	関連
21	48	女	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	
22	38	女	離職中	離職中	
23	46	女	その他の就業（自営業等）	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	関連
24	46	女	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	
25	37	女	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	離職中	
26	46	女	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	関連 中途退校
27	48	女	離職中	非正社員・派遣社員（アルバイト・パート含む）	中途退校

1-5-3 工夫点

- ・第1回の試行訓練から訓練内容を改善したことで、訓練内容を活かせる就職につなげることができた。
- ・受講者アンケート「必要なスキルを身につけることができた」という回答が多く、新たな一歩を踏み出す自信と今後のステップアップへのイメージがついたのではないかと考える。
- ・新たに学んだことを武器にこれまでの業界・職種での正規雇用を目指せる内容であったため、自己アピールや企業研究にも力を入れて取り組んだ。

第3章 受講生の声

本章では、フルパッケージの試行（最終の試行）で実施した内容に関して記載すること。

3-1 受講生へのアンケート

1-5-4 アンケートの目的

訓練内容・講師の教え方・運営面に対してのアンケートを実施。今後に向けての改善。

本項目では、受講生を対象としたアンケートの背景や目的について記載すること。

※未実施の場合は記載不要。

1-5-5 アンケートの方法・内容

①アンケート実施方法：Google フォームにて収集

②修了生（25名）と未修了（1名）に実施

③アンケート実施項目は、3-1-3を参照

本項目では、アンケートの実施方法や質問項目、対象者等について記載すること。

※未実施の場合は記載不要。

1-5-6 アンケートの結果

【1】訓練カリキュラム				
①就職活動にあたり必要な技能・技術が身に付いた				
はい		いいえ		
26		0		
②訓練カリキュラムの内容は全般的に満足できるものでしたか？				
大変満足	満足	普通	やや不満	不満
14	12	0	0	0

【2】講師の教え方について				
①斎藤講師				
大変満足	満足	普通	やや不満	不満
21	5	0	0	0
②古見講師				
大変満足	満足	普通	やや不満	不満
20	6	0	0	0

【３】就職支援について				
①応募書類作成や面接指導が役立った。		②キャリアコンが自己理解や就職活動に役立った。		
はい	いいえ	はい	いいえ	
24	2	24	2	
③就職支援は全般的に満足できるものでしたか？				
大変満足	満足	普通	やや不満	不満
6	14	6	0	0

【４】就職活動について					
①希望している職種		②希望している雇用形態		③就職時期について	
WEBデザイナー	12	正社員	14	早期	11
ディレクター	3	契約社員	1	3ヶ月以内	5
コーダー	4	派遣	2	3月末迄	6
広報関連	3	パート・アルバイト	2	未定	4
事務系	6	フリーランス	2		
EC運営と業務を兼任	1	不問	1		
		時短勤務	1		

【５】総合評価				
①今回受講された職業訓練は全般的に満足できるものでしたか？				
大変満足	満足	普通	やや不満	不満
15	11	0	0	0

受講生よりコメント

【講義内容に関するコメント】

- ・HTML・CSS・JavaScript も初めて学ぶことばかりで、老化した頭では本当に覚えるのが大変でしたが、先生や仲間がいてと思って3カ月間頑張ることができました。特にJavaScript が面白かった。貴重な機会を頂きまして、ありがとうございます。
- ・アシスタントの阿部先生の、「ここつまずきやすいところですよ」とか、教科書の見ポイントとか、的確なアドバイスも全部ありがとうございます。
- ・今まで google ツールも独学で使用をしたり、ファイルの管理なども改めて

教えていただき本当に感謝しています。

【訓練の実施方法などに関するコメント】

- ・完全オンラインなのが大変良かったです。
- ・諦めていたウェブの分野に挑戦するきっかけをいただいて大変感謝しております。とても充実した3ヶ月になりました。
- ・zoom 授業の方が質問しやすく、自分には合っていると思いました。先生方やアシスタントの阿部さんのクオリティが素晴らしかったです。

【訓練全体におけるコメント】

- ・初心者にも分かりやすく勉強の入口を作って頂きました。大変でしたが今後も勉強していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・大人になって先生に一から教えていただくというのは本当に貴重で毎日がすごく楽しかったです。
- ・学んでも学んでも、もっともっと学ばなくてはならないとひしひしと感じました。今後少しでも教えていただいたことを活かせるように今後も精進していきたいと思います。本当にありがとうございました。
- ・パソコンも貸していただき、教科書も支給していただき良かったです。
この内容の講義を無料で受けられた事を感謝しています。

【訓練時間に対するご意見】

- ・もっと授業時間があればいいと思いました。
- ・もう少し期間が長いと就職活動と並行しやすいと思います。
- ・始まって数日は、パソコンの使い方など非常に初歩的な説明が続き少々不安でした。受講者のPC習熟度などでクラスを振り分けたほうがよいかと思いました。ただ、全体的に大変有用な技術を教えていただくことができました。ありがとうございました。

本項目では、アンケートの結果について記載すること。適宜表やグラフを用いる等して、わかりやすく記載すること。

※未実施の場合は記載不要。

1-5-7 結果に関する評価

- ・開講前に事務局・講師で何度も打合せを実施したため、開始後に認識・方向性のズレがなく順調に進めることができた。
- ・毎日、講義終了後は講師陣で当日の振り返り、翌日の講義内容を確認いただきスムーズに講義に入ることができた。

- ・受講生からの質問もフォームを活用したため、リアルタイムで講師全員が確認することができ連絡漏れなどがなかった。
- ・講師選定にあたり、講師歴や実務経験が豊富な方を選定し、本プログラムの趣旨を十分に理解いただける方に依頼。オンライン訓練のため年齢層が高い講師ではなく、現役で活躍している40代~50代前半の講師が望ましいと考えます。
- ・訓練の全日程が終了しましたが、事務局や講師へのクレームなどは一度もなく、出席率も非常によいため訓練は成功であったと感じた。
- ・検討委員の方からも洗練されたいいカリキュラム内容であったと評価をいただいた。

本項目では、アンケート結果に対する貴団体としての評価について端的に記載すること。

※未実施の場合は記載不要。

1-6 受講生へのヒアリング

1-6-1 ヒアリングの目的

※未実施

本項目では、受講生を対象としたヒアリングの背景や目的について記載すること。

※未実施の場合は記載不要。

1-6-2 ヒアリングの方法・内容

※未実施

本項目では、ヒアリングの実施方法や質問項目、対象者等について記載すること。

※未実施の場合は記載不要。

1-6-3 ヒアリングの結果

※未実施

本項目では、ヒアリングの結果について記載すること。適宜表やグラフを用いる等して、わかりやすく記載すること。

※未実施の場合は記載不要。

1-6-4 結果に関する評価

※未実施

本項目では、ヒアリング結果に対する貴団体としての評価について端的に記載すること。

※未実施の場合は記載不要。

第4章 訓練実施に係る費用

本章では、フルパッケージの試行（最終の試行）で実施した内容に関して記載すること。

4-1 募集

【広告費】		
ホームページ更新費用	50,000 円	R5 年に制作費計上 464,000 円
チラシデザイン・印刷	100,003 円	
SNS 広告	1,346,969 円	
チラシ発送費	100,300 円	
【人件費】		
制作・募集	3,004,592 円	
合計	4,601,864 円	

本項目では、募集に要した経費について、人件費、広告運用費等、経費内訳書の粒度で費目別に記載すること。適宜表を用いる等して、わかりやすく記載すること。

なお、人件費等の間接経費は、従事時間や従事した業務内容等を勘案し、適宜按分して記載すること（以下、第4章において同じ）。

1-7 訓練

【人件費】		
人件費	22,159,622 円	1 月分まで
【事業費】		
検討委員会謝金	820,000 円	
講師給	2,149,846 円	1 月分まで
PC リース	5,429,612 円	1 月分まで
教科書代	395,170 円	
教室・事務所家賃	3,444,370 円	3 月分まで
通信費	52,542 円	
PC 発送費	130,130 円	
合計	34,581,282 円	

本項目では、訓練に要した経費について、人件費、教材費等、経費内訳書の粒度で費目別に記載すること。適宜表を用いる等して、わかりやすく記載すること。

1-8 就職支援

【事業費】		
-------	--	--

就職支援講義	54,000 円	
就職支援テキスト代	50,000 円	
キャリアコンサルティング	793,764 円	1 月分まで
合計	897,764 円	

（最終報告にて）本項目では、就職支援に要した経費について、人件費、イベント開催費等、経費内訳書の粒度で費目別に記載すること。適宜表を用いる等して、わかりやすく記載すること。

第5章 試行の総評

1-9 目標達成状況

・（最終報告にて）本項目では、以下の内容について記載すること。記載の順番等は問わないが、全ての要素を含めてフルパッケージ試行の評価を記載すること。

①受講生の「仕上がり像」への到達状況

「仕上り像」企業が求めるスキルを習得後、即戦力となる人材を育成
「到達状況」

- ・試行訓練に比べカリキュラムの時間を増やすことができ、受講生のPCスキルが比較的高かったこともあり、講義がスムーズに進行し予定以上の技術や知識、最新情報を十分に伝えることができた。
- ・また、成果物として前回に比べて多くの作品を完成させることができた。多くの受講生がレスポンシブサイトを制作できるようになり、作品のクオリティも非常に高く、就職活動においてアピールできるものとなった。
- ・Figmaの導入によって、デザイン面の向上だけでなく、企画初期段階から全体の完成像をイメージしながらサイト制作を行うことができ、作品のクオリティ向上につなげることができた。

②目標達成状況（数値目標）

全行程訓練	目標	実績
就業率（中途退校者含む）	70%	74%
関連就職率（就職者中）	80%	40%
満足度（5段階評価）	4.2	4.6

③目標達成状況に関する貴団体としての評価

- ・全行程訓練ではカリキュラムの改善により、受講者の仕上りに効果があった。受講者からの質問の対応方法の改善により、運用効率・教育効果共に向上できた。（Google フォームを活用することで効率的な対応ができた）
- ・訓練期間中のキャリアコンサルティングを定期的を実施し、就職時期の目標設定から実際の応募に至るまで各個人に合わせて支援を実施することができた。
- ・30～40代の業界未経験者が、すぐに関連業界における正規雇用を目指すのは厳しい状況でもため、初回の面談時に理想ではなく、修了後3ヶ月以内に達成できる目標を掲げてもらい、講義とキャリアコンサルティングを並行して実施したことで成果につながった。
- ・キャリアコンサルティングを担当した講師については、WEB業界における就職支援の経験が多く、専門性も高い講師を選定。これまでのキャリアを活かしながら、新たに学んだことを

武器に、採用につながる面談を効果的に実施することができたため、就職率における目標達成となった。

- ・講義とキャリアコンサルティングを担当する講師間で、講義終了後に受講生の情報交換を実施。講義担当講師から就職について業界目線で捉え、関連企業に就職した場合、またはフリーランスでの就業となった場合、など様々な方向からフォローすることができた。
- ・これまで実施した公共職業訓練・求職者支援訓練の経験を活かし、講義とキャリアカウンセリング、全てのプログラムがかみ合った訓練の実施ができたと考える。

④目標達成状況を踏まえた「仕上がり像」の妥当性（目指す学習水準として適当だったか等）

- ・WEB 関連の求人票には「HTML・CSS・JavaScript」のできる方と記載があり、実際に WEB サイトを制作する上で前述のスキルは必須となる。そのため、本訓練では基礎・応用（レスポンス対応）まで時間をかけ実施したことで、クオリティの高い制作物を仕上げることもできた。
- ・本訓練のカリキュラムには、求人票に記載がある業務スキルを習得する内容を盛り込んでおり、企業側が求める採用ニーズに沿ったコース設定にすることで、WEB や SNS 運用、IT 事務など幅広い分野への就職が可能となった。
- ・様々な業界にて、売上や集客の UP、広く周知をするためには Instagram などの SNS 活用が必須であるため、訓練にてデザインスキル、広告や WEB サイト制作方法を習得したことで、就職時のアピールポイントにすることができ、希望する職種への就職や訓練内容を活かした仕事につなげることができた。

1-10 試行結果から見る今後の課題と改善策

（最終報告にて）本項目では、本事業で構築した訓練パッケージを活用するにあたっての課題と改善策について記載すること。その際、試行において実施した施策に関して、狙った効果が得られたか否か、また、その要因についての分析結果を記載すること。

「課題」

- ①就職氷河期世代向けであったが、時間をかけ学習しても、業界的に若年層を求めているケースが多く就職が難しい状況である。また、他の業種においても正社員求人は経験者優遇などが多く、応募に苦戦していた。
- ②就職氷河期世代は転職回数が多く、正規雇用経験が少ないため、特に正社員での就職が難しい状況であった。
- ③IT/WEB 関連の業種は高いスキルが必要なため、専門性を身に付けるためには全体的に訓練時間が不足。

「改善策」

① ②に対し、

求人票の表記のみで判断はせず、経験者優遇とあっても、より積極的に応募していくことの意識醸成を訓練当初から取り組んでいく。また応募に対する年齢の壁は、訓練のカリキュラム内容などを採用担当者へ伝えることで、次の選考へつなげるなど指導していく。

- ③ 訓練期間を3か月程度ではなく、4か月以上設定し、より多くの技術習得をすることで、採用担当者が納得のできるある程度の技術を身に着けることで改善できると考える。

試行において実施した施策に関して、狙った効果が得られたか否か、また、その要因についての分析結果を記載すること。

「効果」

・1日4時間、週4日で実施することで、確実に出席できる設定としたため、修了者の出席率は94.2%と高い出席率となり効果を得ることができた。

また受講への意欲の高さが見られ、講義にて出した課題も全員が提出しており、未経験者が多い状況であったが、多くの受講者がスキルアップに繋げることができた。

・就職氷河期世代においては、長期間に渡り就職活動や就職後の雇用条件、雇止め等に苦勞している世代のため、キャリアコンサルティングにて自信を持てるよう得意分野の分析、年齢による採用や業界の現実的な意見を伝えることで、早期に方向性を決めることができた。

就職活動へのモチベーション向上といった部分での効果を出すことができた。

・講師も経験豊富な方が担当し、アンケートにおいても高評価の結果となった。受講生の意欲も重要だが、講師の質も大変重要であり、クオリティの高い講義、丁寧な対応、躓いた方へのフォローなど、多くの受講者から高評価をいただくことができた。

講師の日頃の取り組み姿勢や指導方法が、効果と現れた結果であると考ええる。

・本訓練内容を自費で学習した場合、高額な学習費用がかかりPCも個人で揃える必要があるが、本事業ではPC無料貸与、テキスト支給、受講料無料で受講できる環境を整えたことにより、多くの地域から申込み、参加があり、受講者にとっては意欲向上につながったと考える。

第6章 普及策の検討

（最終報告にて）本章では、本事業で構築した訓練手法の今後の活用方針について、今後どのように活用予定であるか、受講者対象者へどのようにアプローチするかについて記載すること。また、構築した訓練手法が活用可能と考えられる他の団体や活用策、他団体への普及方法についても記載すること。

・今後の活用方針

本事業における訓練計画内容、受講者の到達度、訓練満足度や全体的な就職率から、弊社他部署にて実施している求職者支援訓練をはじめ、各自治体より公示される公的職業訓練、また、職業訓練以外における再就職を目的としたプログラムにも導入予定。

・受講対象者へのアプローチ

各事業における説明会での周知や募集チラシ、専用ホームページにて記載予定。今回の受講者の受講後の感想（アンケート結果）も記載することで、再就職へ有効なプログラムとして周知することで、多くの希望者を募っていく。

・他団体への普及方法について

弊社代表取締役が理事を務める、全国産業人能力開発団体連合会（JAD）への情報共有のほか、関連する学部を持つ大学などへの普及を目指す。

これらについては、本事業検討委員会において委員として選任をしており、定期の検討委員会にて報告をしていることから可能と考える。

また、特定非営利活動法人 インターネットスキル普及協会（ウェブデザイン技能検定）の審査員も検討委員となっていたことから、同協会への普及も可能と考える。